



Safe Crop Project News



No.31 2020 年 11 月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016 年～2021 年）」は、北部地域 2 市 11 省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライチェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

第 6 回安全作物ビジネスフォーラム開催

11 月 6 日、ハノイのイオンモールロンビエン店内の AEON Hall において、Hanoi Promotion Agency(HPA)と共に、生産者と購買者のマッチングを目的とする第 6 回安全作物ビジネスフォーラムを開催しました。プロジェクト対象省とハノイの生産者、安全食品関連事業者、スーパーなど購買者、CPMU（Central Project Management Unit）を始めとする政府関係者、農業資材会社、JICA ベトナム事務所、JICA プロジェクトチームから約 130 名が参加しました。



プロジェクト活動の成果と HPA との連携について報告する CPMU コーディネーターの Cao Viet Hung 氏

フォーラムは、元々 9 月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて延期され、この度ようやく開催が実現しました。本フォーラムは、HPA がイオンモールと共に開催している「ハノイ農業フェア 2020」の一環として開催され、2019 年プロジェクト消費者啓発活動の入賞ポスターも同時期にイオンモールロンビエン店内で展示されました。フォーラムでは、生産者、購買者、日系農業資材会社によるセミナー、安全作物や農業資材の展示、購買者とのマッチングが行われました。



バイヤーと商談を行う Yen Phu 組合 Nguyen Huu Hung 代表

プロジェクト最後となる今回のフォーラムは、基本的には HPA 主導で開催されました。全体としては小規模ではあるものの、安全作物の生産と流通に関わる関係者にマッチングと情報共有の機会を与えるというフォーラムの目的は達成されたものと考えます。プロジェクトが支援する生産者にも、商談や展示野菜の紹介において自信が見られるようになりました。

またこれまでに開催してきたビジネスフォーラムにおいて、ワークショップ形式、セミナー形式、展示会形式など、様々な方法を試みましたが、内容としてはセミナー、展示会、マッチングの三本立てが受け入れやすいこと、生産者と購買者のマッチングでは、大口で良質な購買者が限られる現状においては、優良購買者にブースを構えてもらい、関心のある生産者が訪問する今回の形式が最も効率的で効果的であることが明らかとなりました。6 回の実践を通じ、プロジェクトの介入がなくても実施可能な形式を見出すことができました。今後プロジェクト終了に向け、HPA と共に持続性の確保に向けた協議を進める予定です。

モクチャウ郡スタディツアーの報告

プロジェクトでは、政府職員及び対象農家グループの安全野菜生産や流通にかかる先進農業技術や知見の獲得を目的に、11 月 9 日から 11 日にかけてソンラ省モクチャウ郡へのスタディツアーを実施しました。

モクチャウ郡は「第 2 のダラット」とも呼ばれる、ベトナム北部の高原農業地域で、お茶や野菜の生産が盛んな地域です。標高は 1,000m 程度とダラットよりも若干低いですが、ハノイ近郊では野菜生産が難しい夏期の端境期を狙った生産が行われています。主な出荷先は 190km 離れたハノイ市やその周辺都市で、近年ではオーストラリアやオランダなどの支援を受け安全野菜の生産が急速に増えています。

スタディツアーでは、モクチャウ郡人民委員会農業室による農業概況の説明を受け、安全野菜生産を行う 4 つの農協・農業法人を訪問しました。それぞれの団体概要は以下の通りです。

名称	Hoang Mai 農協	Green Farm 農業法人	An Thai 農協	Dung Tien 農協
面積	27.6ha	10ha	4.66ha	12ha
栽培品目	キャベツ、白菜、緑豆、ハヤトウリ	トマト、カリフラワー、アスパラガス、キュウリ	ニンジン、ジャガイモ、キュウリ、カラシナ、セロリ	キャベツ、ジャガイモ
年間生産量	3,500 トン	3,000 トン	300 トン	1,650 トン

認証	VietGAP	VietGAP	VietGAP	VietGAP
販売先	ハノイ市・周辺のスーパーや食堂	ハノイ市内のスーパーや安全野菜店	ハノイ市、ハナム省、バクニン省等の安全野菜店	ハノイ市内の学校、スーパーや安全野菜店
特記事項	組合で農地を借り上げ、2年前から露地栽培を開始。	野菜栽培以外に接ぎ木苗の生産・販売を実施。ハウス栽培。	農家数 19 名の小規模農協。輸送用トラック所有。露地栽培。フンエン省出身者の入植村。	農家数 12 名。露地栽培。豪州政府の支援を受け灌漑のIT化、イチゴの試験栽培を開始。

共通する特徴としては、安全野菜の認証として VietGAP を取得し、ハノイ市とその近郊に出荷していること、輸送手段としてのトラックを保有している点があります。また、モクチャウの気候を生かして、ハノイ市周辺で生産が難しい夏場（4～11月）を主要な出荷時期としている点も共通しています。ハノイ市まで輸送コストはかかるものの、夏場は野菜の価格が高く十分な利益を確保できるとのことです。各団体の特徴は、以下の通りです。

Hoang Hai 農協：

組合が農地を借り上げ、2年前から露地野菜の生産を開始しています。モクチャウの中心街から山道を 20～30 分ほど入った場所にありアクセスは不便ですが、農地は比較的平らで広大であり作業性のよい環境です。白菜圃場には LED 式のバタフライトラップが設置されており、農薬の使用を最小限にしつつ害虫による食害を抑える工夫がみられ、訪問した参加者も高い関心を寄せていました。価格が下がる冬期は土地を休ませ地力回復を図るなど、持続的な圃場管理も実践しています。



Hoang Hai 農協で導入されている LED 式バタフライトラップ

Green Farm 社：

同社はネットハウス内で点滴灌漑を用いた施設園芸を実践しており、耐病性に優れ高収量のカリフラワーやトマトの新品種にも積極的にチャレンジしています。また、同社は野菜生産よりも接ぎ木苗の生産・販売業者としての知名度が高く、接ぎ木苗はハノイ市やハイズオン省、その他北部の主要な野菜生産地域に出荷

され、6 カ月前から注文しないと入荷できないほどだそうです。

An Thai 農協：

同農協はフンエン省出身者の入植村の住民で構成され、年間を通じて多種多様な野菜を栽培しています。農家数は 19 名、農地面積も 4.66ha と小規模なため、販売先は大手スーパーではなく、ハノイ市内の安全野菜店を主要顧客としている点が他の団体と異なります。



An Thai 農協のセロリ栽培を視察する参加者

Dung Tien 農協：

こちらの農協は周辺に茶畑の広がるなだらかな丘陵地帯に農場をもちます。メンバーは少数民族がほとんどで栽培技術に乏しいため、土地条件に合うキャベツやジャガイモに品目を絞って生産しています。また事業開始当初は収穫後処理施設も技術もないため、ハノイ市の業者に委託して収穫後処理を行っていましたが、最近施設を建設し、今後、自前で収穫後処理を始めるとのことです。また、豪州政府の支援を受けスマートフォンアプリを活用したスプリンクラー灌漑や監視カメラの操作、環境計測など、いわゆるスマート農業の実証も開始しています。



Dung Tien 農協の代表から説明を受ける参加者

3 日間のスタディツアーを通じて、参加した政府職員や対象グループは、新たな知見を得ることができました。特に、パイロット省、セミ・パイロット省合わせて 6 省、20 の対象グループ全てが集まって交流する機会はプロジェクト期間を通じて初めて最後であり、参加者は省やグループの垣根を超えて盛んに意見交換をしていたのが印象的でした。プロジェクト終了後もこうした交流を継続してもらいたいと考えています。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam
Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com